

事業評価調書

◎基本情報

年度	令和6年度	会計コード	80	軌道整備事業会計	事業コード	35420	
事業名	軌道整備事業会計						
評価担当課	所 属	交)事業管理部 経営計画課			電話番号	011-896-2716	
施策名	軌道整備事業会計						
アクションプラン	○ 対象 ● 対象外						
事業の性質	● 経常経費 ○ 臨時的経費			○ 内部管理	○ 法定経費	○ 指定管理費	
	○ 直営 ● 一部委託 ○ 全部委託 ○ 補助・助成 ○ その他						
事業内容	事業の背景(現在の状況、社会的課題)	昭和2年の市営交通発足以降、道路事情の変化や地下鉄の開通で路線を縮小し、昭和49年以降は1路線での運行となっていたが、平成27年度には都心線が開業し路線のループ化を行った。令和2年度には「上下分離」による経営を導入し、経営基盤の強化、安全管理体制の維持・継続、新たな事業者による利用者サービスの向上に取り組んでいる。					
	事業内容(何を実施し)	路面電車事業8.9kmの施設・車両の保有整備事業。市域の拡大や人口の増加を支え、市民の移動手段として市の発展に貢献してきた。安心で安全な運行に必要な整備を目標に運営している。 令和6年度の輸送人員は年間9,143,098人、1日当たり25,050人となった。					
	どのような状態にしたい(状態を維持したい)	かけがえのない市民の財産である地下鉄と路面電車を最大限活用し、公共交通ネットワークの中核として、お客さまのゆたかなくらしとまちの発展を支える。					
	他都市の状況	札幌市以外に公営で軌道事業を行っているのは、函館市、東京都、熊本市、鹿児島市である。					
	市民参加の実施	☐ 企画 ☒ 実施 ☐ 評価 ☐ 対象外					
令和5年度決算額	1,668,797 千円	うち特定財源	0 千円	正規職員業務量	29 人		
令和6年度予算額	1,720,000 千円	うち特定財源	0 千円	正規職員業務量	22 人		
令和6年度決算額	1,539,027 千円	うち特定財源	0 千円	正規職員業務量	20 人		
令和7年度予算額	1,813,000 千円	うち特定財源	0 千円	正規職員業務量	15 人		
指標	アウトプット活動指標1	低床車両の導入数			という活動、業務を行うことで		
		令和5年度実績	令和6年度予定	令和6年度実績	令和7年度予定	令和8年度予定	令和9年度予定
		1両	1両	1両	1両	1両	1両
	↓						
	アウトカム成果指標1	輸送人員(1日平均)			という状態にしたい、成果を挙げたい		
		令和5年度実績	令和6年度予定	令和6年度実績	令和7年度予定	令和8年度予定	令和9年度予定
		24,167人	24,583人	25,050人	26,421人	24,928人	24,970人
	指標1の評価、未達理由、今後の考え方	コロナ禍で落ち込んだ乗車人員は回復し、輸送人員の当初目標を上回った。					
	アウトプット活動指標2	経常収支(税抜)			という活動、業務を行うことで		
		令和5年度実績	令和6年度予定	令和6年度実績	令和7年度予定	令和8年度予定	令和9年度予定
		△154百万円	△144百万円	5百万円	△87百万円	△60百万円	△67百万円
	↓						
アウトカム成果指標2	資金不足額の未発生			という状態にしたい、成果を挙げたい			
	令和5年度実績	令和6年度予定	令和6年度実績	令和7年度予定	令和8年度予定	令和9年度予定	
	発生していない	発生させない	発生していない	発生させない	発生させない	発生させない	
指標2の評価、未達理由、今後の考え方	収支目標の達成等により、資金不足は発生していない。						
今年度の見直し内容	なし。						
来年度以降の方向性	札幌市交通事業経営計画に基づき、安全の確保及び快適なお客様サービスの提供等を進めていく。						